

HUG(避難所運営ゲーム)を実施するには！(手順)

① 開催場所と開催日時の決定

地域で開催場所と概ねの開催日時を決めてください。



② グループ数の決定

6～8人で1つのグループを組んで実施するため、概ねのグループ数を決めてください。



③ 想定する災害と避難所の決定

どのような災害を想定した訓練とするのかを決めてください。

(地震、津波、大雨 など)

どの避難所を開設するのかを決めてください。(●●小学校、●●中学校 など)



④ 防災啓発課に連絡を！！

貸し出しするHUGキットや避難所となる小学校等の平面図など、必要な訓練用品の準備を行うため、市(防災啓発課)にご連絡をお願いします。

他の地域の訓練日と重なっている場合や、市(防災啓発課)の参加を希望される場合は、日程調整をさせていただくことになりますので、ご了解をお願いいたします。

防災啓発課 TEL 0798-35-3092



⑤ 地域による開催案内の実施

地域で開催案内のビラを回覧等して、参加者を募ってください。



⑥ 訓練用品等の受け取り

開催日の数日前に、訓練HUGキットや平面図など、必要な訓練用品を防災啓発課まで受け取りに来てください。

市(防災啓発課)が参加する場合は、訓練用品は開催日に市が持参します。

※ 訓練用品等の受け取りの際に、HUGの進め方を詳しく説明します。

★ 訓練で使用する用品等は市が用意します。地域で準備していただくのは、「会場の予約」と「開催案内ビラの回覧等」となります。

避難所運営ゲーム（HUG）について

大規模災害が発生した場合、避難所の開設は市職員が行いますが、長期の避難での避難所の運営は地域住民の避難者による自治組織で行ってもらうことになります。

避難所を運営するには、色々な対応が必要です。

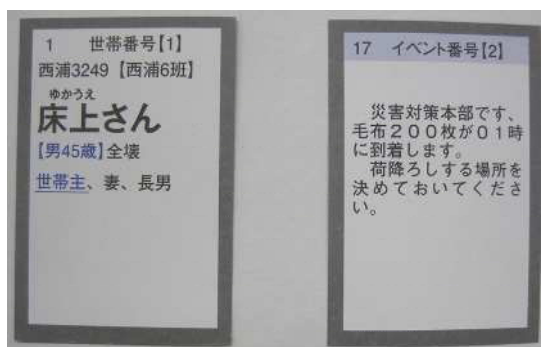
《避難所運営に必要な対応事》

- 部屋割り
- 避難所運営本部の設置
- 取材、問い合わせの対応
- 食料、物資の受け入れ、配給
- 炊き出し、ごみ、風呂、ペット、トイレ etc

『避難所運営を模擬体験する！！』それがHUGです。

HUGの進め方

- ① 避難者の年齢や避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれた『避難者カード』を避難所の体育館や教室に見立てた平面図に配置していく。
- ② 避難所で起こる様々な対応事が書かれた『イベントカード』の内容について対応する。



- ③ 訓練中や終了後に他のグループの配置状況を見ることにより、自分のグループとの違い等を確認する。
- ④ 訓練終了後、グループで意見交換や反省を行い、避難所の運営を学ぶ。

★ HUGにより、避難所の運営を学ぶだけでなく、今までと違った視点で、『防災』について考えることを目的としています。



H U G 状 況 写 真



6～8名のグループに分かれて訓練開始



『避難者カード』等を平面図等に配置
(避難者を避難所に受け入れ)



体育館や運動場の配置結果



他のグループの配置結果を確認



グループでの意見交換



意見発表・意見交換